

薩 監 第 2 6 3 号  
令 和 4 年 8 月 1 9 日

薩摩川内市長 田 中 良 二 殿

薩摩川内市監査委員 篠 原 和 男  
同 矢 野 信 之  
同 瀬 尾 和 敬



令和3年度薩摩川内市公営企業会計決算の審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和3年度薩摩川内市公営企業会計（水道事業会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計）の決算について、薩摩川内市監査基準に準拠して審査したので、その結果について別紙のとおり審査意見書を提出します。

令和 3 年 度

薩摩川内市公営企業会計決算審査意見書

薩摩川内市水道事業会計

薩摩川内市簡易水道事業会計

薩摩川内市下水道事業会計



薩摩川内市監査委員

# 目 次

## 令和3年度 薩摩川内市公営企業会計決算審査意見

|    |          |    |
|----|----------|----|
| 第1 | 審査の対象    | 3  |
| 第2 | 審査の期間    | 3  |
| 第3 | 審査の方法    | 3  |
| 第4 | 審査の結果    | 3  |
|    | 公営企業会計決算 | 4  |
| ●  | 水道事業会計   |    |
| 1  | 事業の概況    | 7  |
| 2  | 予算の執行状況  | 7  |
| 3  | 経営成績     | 8  |
| 4  | 財政状態     | 11 |
|    | むすび      | 14 |
|    | 資料       | 15 |
| ●  | 簡易水道事業会計 |    |
| 1  | 事業の概況    | 23 |
| 2  | 予算の執行状況  | 23 |
| 3  | 経営成績     | 25 |
| 4  | 財政状態     | 27 |
|    | むすび      | 30 |
|    | 資料       | 31 |
| ●  | 下水道事業会計  |    |
| 1  | 事業の概況    | 39 |
| 2  | 予算の執行状況  | 39 |
| 3  | 経営成績     | 41 |
| 4  | 財政状態     | 44 |
|    | むすび      | 47 |
|    | 資料       | 48 |

注1 構成比率は、合計が100になるように一部調整した。

2 「0.0」、「0.00」は、該当数値はあるが、表示単位未満のものである。

3 「-」は、該当数値のないものである。

## 令和 3 年度 薩摩川内市公営企業会計決算審査意見

### 第 1 審査の対象

令和 3 年度 薩摩川内市水道事業会計決算

令和 3 年度 薩摩川内市簡易水道事業会計決算

令和 3 年度 薩摩川内市下水道事業会計決算

### 第 2 審査の期間

令和 4 年 6 月 2 9 日から同年 8 月 1 9 日まで

### 第 3 審査の方法

令和 3 年度の決算審査に当たっては、市長から送付された決算書及び附属書類について、決算の計数は正確であるか、会計帳簿、証拠書類等との照合を行い、かつ、関係職員の説明を聴取し、事業会計の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか確認するとともに、経営内容の分析を行った。

更に例月出納検査及び定期監査の結果も参考にしながら慎重に審査を行った。

また、各事業の貯蔵品については、年度末のたな卸しに立ち会い確認した。

### 第 4 審査の結果

審査に付された決算諸表は、関係法令に準拠して作成されており、これらに係る会計帳簿、証拠書類等を照合した結果、計数は正確であり、事業の経営成績及び財政状態はおおむね適正に表示しているものと認めた。

各会計の事業の概況、予算の執行状況、経営成績及び財政状態の審査結果は、次に述べるとおりである。

公営企業会計決算（経営成績）

（単位：千円）

| 区 分       | 収 益       | 費 用       | 当年度<br>損 益 | その他未処分<br>利益剰余金<br>変 動 額 | 当 年 度<br>未 処 分<br>利益剰余金 |
|-----------|-----------|-----------|------------|--------------------------|-------------------------|
| 水 道 事 業   | 1,802,500 | 1,521,265 | 281,235    | 283,090                  | 564,325                 |
| 簡易水道事業    | 309,299   | 269,952   | 39,347     | 0                        | 39,347                  |
| 下 水 道 事 業 | 856,730   | 829,437   | 27,293     | 0                        | 27,293                  |

公営企業会計決算（財政状態）

（単位：千円）

| 区 分       | 資 産        | 負 債 ・ 資 本  |            |            |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
|           |            | 負 債        | 資 本        | 合 計        |
| 水 道 事 業   | 18,390,148 | 7,144,963  | 11,245,185 | 18,390,148 |
| 簡易水道事業    | 3,070,182  | 2,329,532  | 740,650    | 3,070,182  |
| 下 水 道 事 業 | 14,656,084 | 12,388,741 | 2,267,343  | 14,656,084 |

# 水道事業会計



## 1 事業の概況

当年度末における水道事業の給水件数は43,971件であり、給水人口は86,630人で前年度末に比べ105人の減となっている。

なお、当年度における総有収水量は9,238,688<sup>m</sup>³であり、有収率は89.7%で前年度に比べ0.3ポイントの増となっている。

事業の概要は別表1（P.15）のとおりである。

## 2 予算の執行状況

### （1）収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額1,883,251,000円に対し、決算額1,963,833,998円で収入率104.3%となっており、予算額に比べ80,582,998円の増となっている。

収益的支出は、予算額1,672,087,000円に対し、決算額1,611,654,036円で執行率は96.4%となっており、予算額に比べ60,432,964円の不用額が生じている。

不用額の主なものは、営業費用58,723,186円である。

### 収益的収入及び支出

（単位：円、％）

| 区 分   | 予 算 額<br>(A)  | 決 算 額<br>(B)  | 翌年度<br>繰越額 | 予算額に比べ<br>決算額の増減<br>又は不用額 | 収入率<br>又は<br>執行率<br>(B)/(A) |
|-------|---------------|---------------|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 事業収益  | 1,883,251,000 | 1,963,833,998 | 0          | 80,582,998                | 104.3                       |
| 営業収益  | 1,724,102,000 | 1,792,576,730 | 0          | 68,474,730                | 104.0                       |
| 営業外収益 | 159,149,000   | 171,257,268   | 0          | 12,108,268                | 107.6                       |
| 事業費用  | 1,672,087,000 | 1,611,654,036 | 0          | 60,432,964                | 96.4                        |
| 営業費用  | 1,562,687,000 | 1,503,963,814 | 0          | 58,723,186                | 96.2                        |
| 営業外費用 | 106,800,000   | 106,797,912   | 0          | 2,088                     | 100.0                       |
| 特別損失  | 1,000,000     | 892,310       | 0          | 107,690                   | 89.2                        |
| 予備費   | 1,600,000     | 0             | 0          | 1,600,000                 | 0                           |

### （2）資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額287,700,000円に対し、決算額282,386,790円で収入率98.2%となっており、予算額に比べ5,313,210円の減となっている。



資本的支出は、予算額1,098,089,000円に対し、決算額1,073,913,921円で執行率は97.8%となっている。なお、地方公営企業法第26条の規定による繰越額5,107,000円を翌年度へ繰り越している。

また、予算額に比べ19,068,079円の不用額が生じているが、この主なものは、建設改良費の19,067,976円である。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額791,527,131円は、減債積立金283,090,000円、過年度分損益勘定留保資金439,476,685円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額68,960,446円で補填している。

### 資 本 的 収 入 及 び 支 出

(単位：円、%)

| 区 分         | 予 算 額<br>(A)  | 決 算 額<br>(B)  | 翌年度<br>繰越額 | 予算額に比べ<br>決算額の増減<br>又は不用額 | 収入率<br>又は<br>執行率<br>(B)/(A) |
|-------------|---------------|---------------|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 資 本 的 収 入   | 287,700,000   | 282,386,790   | 0          | △ 5,313,210               | 98.2                        |
| 企 業 債       | 251,000,000   | 251,000,000   | 0          | 0                         | 100.0                       |
| 負 担 金       | 36,700,000    | 31,386,790    | 0          | △ 5,313,210               | 85.5                        |
| 資 本 的 支 出   | 1,098,089,000 | 1,073,913,921 | 5,107,000  | 19,068,079                | 97.8                        |
| 建 設 改 良 費   | 814,998,000   | 790,823,024   | 5,107,000  | 19,067,976                | 97.0                        |
| 企 業 債 償 還 金 | 283,091,000   | 283,090,897   | 0          | 103                       | 100.0                       |

### 3 経 営 成 績

経営成績は別表2 損益計算書 (P.16) のとおりである。

当年度の経営成績は、営業収益1,631,300,619円、営業費用1,453,998,874円で差引177,301,745円の営業利益が生じ、長期前受金戻入等の営業外収益171,199,114円、支払利息等の営業外費用66,373,652円を加減し282,127,207円の経常利益が生じている。

これに特別損失892,310円を計上し、当年度純利益は281,234,897円となり、前年度比100,223,940円 (55.4%) の増となっている。

経 営 成 績

(単位：円)

| 年度 | 収 益           | 収 益 の う ち<br>一般会計補助金 | 費 用           | 特別損失    | 当年度純利益      |
|----|---------------|----------------------|---------------|---------|-------------|
| 3  | 1,802,499,733 | 6,388,000            | 1,520,372,526 | 892,310 | 281,234,897 |

(1) 収益性 (カネ)

経営資本営業利益率は、経営活動のための投下資本がどれだけの利益を上げたかを示すもので、この数値が高いほど収益性が良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると1.24ポイント上回っている。

経営資本回転率は、経営資本に対する営業収益の割合であり、経営資本の何倍の営業収益があったかを示すもので、この数値が高いほど経営資本の収益性が高いとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると0.01ポイント下回っている。

営業収益営業利益率は、営業収益に対する営業利益の割合であり、この比率が高いほど効率の良い営業がなされているとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると13.59ポイント上回っている。

| 項 目               | 算 式  | R 3   | R 2  | R 元   | 全国 (R 2) |
|-------------------|--|-------|------|-------|----------|
| 経営資本営業利益率 (%)     | $\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ | 0.97  | 0.43 | 1.36  | △ 0.27   |
| 経 営 資 本 回 転 率 (回) | $\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$            | 0.09  | 0.08 | 0.09  | 0.10     |
| 営業収益営業利益率 (%)     | $\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$ | 10.87 | 5.25 | 15.02 | △ 2.72   |

・ 供給単価と給水原価

有収水量 1 m<sup>3</sup> 当たりの供給単価は174円57銭、給水原価は151円89銭であり、供給単価と給水原価の差額は22円68銭となり、前年度比11円02銭の増となっている。

| 区 分   | 供 給 単 価 | 給 水 原 価 | 供 給 単 価 と<br>給水原価の差額 |
|-------|---------|---------|----------------------|
| 令和3年度 | 174円57銭 | 151円89銭 | 22円68銭               |
| 令和2年度 | 160円05銭 | 148円39銭 | 11円66銭               |

### (2) 施設の利用状況 (モノ)

施設利用率は、一日平均配水量を一日配水能力で除した割合のことで、施設が  
いかに効率よく稼働しているかを見るもので、数値が高いほど良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると12.45ポイント上回っている。

負荷率は、一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合のことで、数値が高  
いほど良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると7.92ポイント下回っている。

最大稼働率は、一日配水能力に対する一日最大配水量の割合のことで、数値が  
高いほど施設の効率性は高いとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると23.15ポイント上回っており、施設の  
効率性が高いといえる。

| 項 目       | 算 式  | R 3   | R 2   | R 元   | 全国(R 2) |
|-----------|--|-------|-------|-------|---------|
| 施設利用率 (%) | $\frac{\text{平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$  | 72.36 | 73.05 | 71.60 | 59.91   |
| 負 荷 率 (%) | $\frac{\text{平均配水量}}{\text{最大配水量}} \times 100$ | 77.76 | 73.06 | 72.86 | 85.68   |
| 最大稼働率 (%) | $\frac{\text{最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$  | 93.07 | 99.98 | 98.27 | 69.92   |

### (3) 人件費と労働生産性 (ヒト)

総費用1,521,264,836円のうち人件費200,928,706円の占める割合は13.2%とな  
っている。

また、給水収益1,612,761,119円に対する割合は12.5%となっている。

人件費のうち職員給与費について分析すると次表のようになる。

| 項目                                | 算式  | R 3     | R 2     | R 元     | 全国(R 2) |
|-----------------------------------|---|---------|---------|---------|---------|
| 職員一人当たり<br>有収水量 (m <sup>3</sup> ) | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 401,682 | 404,273 | 397,312 | 407,075 |
| 職員一人当たり<br>営業収益(千円)               | $\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$    | 70,926  | 65,451  | 70,974  | 71,272  |
| 職員一人当たり<br>給水人口 (人)               | $\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$  | 3,767   | 3,771   | 3,798   | 3,663   |

#### (4) 支払利息

支払利息は63,951,642円であり、総費用1,521,264,836円に占める割合は4.2%となっている。

## 4 財政状態

財政状態は別表3 貸借対照表 (P. 17~19) のとおりである。

#### (1) 資産

資産総額は18,390,147,687円であり、そのうち有形固定資産が16,663,182,975円で、主なものは構築物13,145,201,344円である。

流動資産は1,722,358,212円で、主なものは現金預金1,657,442,534円である。

#### (2) 負債

負債総額は7,144,962,865円であり、主なものは固定負債・流動負債の企業債4,635,329,376円及び流動負債の未払金126,417,191円である。

#### (3) 資本

資本総額は11,245,184,822円であり、そのうち資本金が10,234,743,008円、剰余金が1,010,441,814円である。

水道事業の財政状態の良否を示す財務比率は、次のとおりである。

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、事業年度内に現金化できる流動資産と支払わなければならない流動負債とを比べ、企業の支払能力をみるもので、比率が大きいほど返済能力があり、経営上200%以上が望ましいとされている。

自己資本構成比率は、総資本の中に占める自己資本の割合であり、大きいほど経営の安定性があるとされている。

固定資産対長期資本比率は、固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以下であることが望ましいとされている。

| 項 目             | 算 式  | R 3    | R 2    | R 元    | 全国 (R 2) |
|-----------------|--|--------|--------|--------|----------|
| 流動比率 (%)        | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$   | 393.20 | 303.89 | 381.69 | 350.79   |
| 自己資本構成比率 (%)    | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$     | 73.52  | 72.55  | 73.12  | 71.65    |
| 固定資産対長期資本比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 92.85  | 93.62  | 93.99  | 90.01    |

#### (4) 未収金

当年度末における未収金は58,073,835円で、昨年度より1,234,621円減少しており、未収金の主なものは、水道料金51,007,791円及び工事負担金6,228,000円である。

このうち未収水道料金の過去3年間の推移は次表のとおりとなっており、昨年度と比べ当年度分については2,018,790円(6.41%)増加し、過年度分については756,590円(4.14%)減少している。

収入率については、当年度分で0.05ポイントの増、過年度分で1.24ポイントの減となっている。なお、令和4年5月末で当年度末未収金のうち30,982,274円が収入済であり、工事負担金については、全額収入済である。

また、当年度の不納欠損額は、消滅時効が完成した水道料金債権の放棄を定めた水道事業給水条例による水道料金1,099,520円(311件)及び督促手数料29,600円(296件)の合計1,129,120円(607件)となっている。

未収水道料金の推移

(単位：円、%)

| 年度 | 区分  | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額     | 未収金額       | 収入率   | 前年度比   |
|----|-----|---------------|---------------|-----------|------------|-------|--------|
| 3  | 当年度 | 1,734,886,070 | 1,701,375,560 | 0         | 33,510,510 | 98.07 | 0.05   |
|    | 過年度 | 49,552,151    | 30,955,350    | 1,099,520 | 17,497,281 | 62.47 | △ 1.24 |
|    | 計   | 1,784,438,221 | 1,732,330,910 | 1,099,520 | 51,007,791 | 97.08 | 0.20   |
| 2  | 当年度 | 1,592,160,590 | 1,560,668,870 | 0         | 31,491,720 | 98.02 | 0.17   |
|    | 過年度 | 54,937,940    | 35,000,939    | 1,683,130 | 18,253,871 | 63.71 | 0.63   |
|    | 計   | 1,647,098,530 | 1,595,669,809 | 1,683,130 | 49,745,591 | 96.88 | 0.13   |
| 元  | 当年度 | 1,701,709,150 | 1,665,087,500 | 0         | 36,621,650 | 97.85 | △ 0.02 |
|    | 過年度 | 55,494,330    | 35,006,540    | 2,171,500 | 18,316,290 | 63.08 | 1.36   |
|    | 計   | 1,757,203,480 | 1,700,094,040 | 2,171,500 | 54,937,940 | 96.75 | 0.10   |

表中で令和3年度における当年度の調定額が、令和2年度の当年度と比較して142,725,480円増加しているが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症による経済的負担の軽減を図る支援策として4か月分の水道料金（基本料金）を減免したことが一つの要因であると考えます。

- ◆ **水道料金について、利用者負担の公平性のため、お客さまセンターと連携し、収入未済額の更なる縮減に努められたい。**

(5) 貯蔵品

貯蔵品は従来から使用の状況により、その都度必要な材料、量水器等を購入しているが、当年度は前年度と比較すると1,236,749円の減少で9,977,043円となっている。

また、予算第10条のたな卸資産購入限度額31,116,000円に対して、執行済額は21,917,513円となっており、限度額以内の執行となっている。

なお、貯蔵品については、令和4年3月31日現在の貯蔵品実地たな卸に立ち会い台帳と照合したところ数量は一致しており、資材の保管状況も良好であった。

(6) 企業債

企業債の前年度末残高4,667,420,273円に対し、当年度借入額251,000,000円、当年度償還額283,090,897円を加減したことにより、当年度末残高は4,635,329,376円となっている。

## む す び

当年度の経営成績は、営業収益 1,631,301 千円（前年度 1,505,372 千円）、営業費用 1,453,999 千円（前年度 1,426,288 千円）で差引 177,302 千円の営業利益が生じ、これに長期前受金戻入、雑収益等の営業外収益から支払利息等の営業外費用を差し引いた営業外利益 104,825 千円を加え、経常利益は 282,127 千円となる。これから、特別損失を減じ、当年度純利益は 281,235 千円である。

なお、前年度純利益と比較すると 100,224 千円（155.4%）と大幅な増となっているが、これは、令和 2 年度に、新型コロナウイルス感染症による経済的負担の軽減を図る支援策として 4 か月分の水道料金（基本料金）を減免したことが一つの要因であると考えられる。

今後も少子化等に伴う人口減少により、給水人口の減少や市民の節水意識などにより営業収益は減収傾向になることが予想される一方で、施設の老朽化に伴う更新や不測の事態に備えた災害に強い施設の整備などにより多額の財政負担も予想されることから、更なる経営の合理化、業務の効率化を図っていただきたい。

また、水道事業の経営効率の指標となる有収率は 89.7% で、前年度と比較すると 0.3 ポイント増加している。有収率の向上は、資源の有効活用と安定給水に直結するものであることから、漏水調査及び計画的な配水管等の施設整備による漏水対策の推進を図り、有収率の向上に努めていただきたい。

水道料金の未収金については、収入率向上から職員の努力を認めるも、今後も利用者負担の公平性の確保や経営の健全化の観点からも、引き続きお客さまセンターと連携し、新たな未収の発生防止と未収金の早期回収に努めていただきたい。

最後に、水道事業は市民の日常生活に不可欠なライフラインの一つとして重要な役割を担うものであることから、引き続き安全・安心で良質な水の安定供給に取り組まれるとともに、令和 3 年 3 月に策定された「薩摩川内市水道事業経営戦略」に基づき、投資・財政計画、水道施設事業計画の進捗管理を行い、更新事業の実施、効率的な維持管理に取り組むなどして、引き続き災害に強い施設整備及び持続可能な健全経営を図っていただきたい。

水道事業資料

別表 1

事業の概要

| 区 分                        | 令和3年度      | 令和2年度      | 前年度比    | 前年度差引額   |
|----------------------------|------------|------------|---------|----------|
| 年度末給水人口 (人)                | 86,630     | 86,735     | 99.88%  | △ 105    |
| 年度末給水件数 (件)                | 43,971     | 43,263     | 101.64% | 708      |
| 総配水量 (m <sup>3</sup> )     | 10,300,950 | 10,398,176 | 99.06%  | △ 97,226 |
| 一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )  | 28,222     | 28,488     | 99.07%  | △ 266    |
| 一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )  | 36,296     | 38,994     | 93.08%  | △ 2,698  |
| 総有収水量 (m <sup>3</sup> )    | 9,238,688  | 9,298,286  | 99.36%  | △ 59,598 |
| 一日平均有収水量 (m <sup>3</sup> ) | 25,311     | 25,475     | 99.36%  | △ 164    |
| 営業収益 (千円)                  | 1,631,301  | 1,505,372  | 108.37% | 125,929  |
| 給水収益 (千円)                  | 1,612,761  | 1,488,211  | 108.37% | 124,550  |
| 営業利益 (千円)                  | 177,302    | 79,084     | 224.19% | 98,218   |
| 当年度純利益 (千円)                | 281,235    | 181,011    | 155.37% | 100,224  |
| 有収率 (%)                    | 89.7       | 89.4       | 100.34% | 0.3      |

※ 金額については、税抜きである。



別表2

## 損益計算書

(単位：円、%)

| 科 目           | 令 和 3 年 度     |        |             | 前年度比    | 令和2年度<br>金 額  |
|---------------|---------------|--------|-------------|---------|---------------|
|               | 金 額           | 構成比    | 前年度差引額      |         |               |
| 営業収益          | 1,631,300,619 | 100.00 | 125,928,136 | 108.37  | 1,505,372,483 |
| 給水収益          | 1,612,761,119 | 98.86  | 124,550,236 | 108.37  | 1,488,210,883 |
| その他の営業収益      | 18,539,500    | 1.14   | 1,377,900   | 108.03  | 17,161,600    |
| 営業費用          | 1,453,998,874 | 100.00 | 27,710,761  | 101.94  | 1,426,288,113 |
| 原水及び浄水費       | 310,127,957   | 21.33  | 4,983,019   | 101.63  | 305,144,938   |
| 配水及び給水費       | 233,353,410   | 16.05  | 809,476     | 100.35  | 232,543,934   |
| 総係費           | 195,558,517   | 13.45  | 9,056,672   | 104.86  | 186,501,845   |
| 減価償却費         | 694,566,833   | 47.77  | 7,356,364   | 101.07  | 687,210,469   |
| 資産減耗費         | 20,392,157    | 1.40   | 5,505,230   | 136.98  | 14,886,927    |
| 営業利益          | 177,301,745   | —      | 98,217,375  | 224.19  | 79,084,370    |
| 営業外収益         | 171,199,114   | 100.00 | 131,377     | 100.08  | 171,067,737   |
| 受取利息及び配当金     | 40,368        | 0.02   | △ 143,111   | 22.00   | 183,479       |
| 他会計負担金        | 0             | 0      | 0           | —       | 0             |
| 他会計補助金        | 6,388,000     | 3.73   | △ 859,000   | 88.15   | 7,247,000     |
| 長期前受金戻入       | 115,227,813   | 67.32  | △ 422,264   | 99.63   | 115,650,077   |
| 雑収益           | 12,914,933    | 7.54   | 696,752     | 105.70  | 12,218,181    |
| 資本費繰入収益       | 36,628,000    | 21.39  | 859,000     | 102.40  | 35,769,000    |
| 営業外費用         | 66,373,652    | 100.00 | △ 2,731,488 | 96.05   | 69,105,140    |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 63,951,642    | 96.35  | △ 4,594,788 | 93.30   | 68,546,430    |
| 雑支出           | 2,422,010     | 3.65   | 1,863,300   | 433.50  | 558,710       |
| 経常利益          | 282,127,207   | —      | 101,080,240 | 155.83  | 181,046,967   |
| 特別利益          | 0             | —      | 0           | —       | 0             |
| 特別損失          | 892,310       | —      | 856,300     | 2477.95 | 36,010        |
| 当年度純利益        | 281,234,897   | —      | 100,223,940 | 155.37  | 181,010,957   |

別表3

## 貸借対照表

(単位：円、%)

| 科 目      | 借              |              |              | 貸          |                |              | 令和2年度<br>金 額 |
|----------|----------------|--------------|--------------|------------|----------------|--------------|--------------|
|          | 金 額            | 令 和 3<br>構成比 | 前年度<br>差引額   | 前年度<br>差引額 | 前年度<br>比       | 令和2年度<br>金 額 |              |
| 資産       | 18,390,147,687 | 100.00       | 63,921,166   | 100.35     | 18,326,226,521 |              |              |
| 固定資産     | 16,667,789,475 | 90.63        | 31,883,731   | 100.19     | 16,635,905,744 |              |              |
| 有形固定資産   | 16,663,182,975 | 90.61        | 32,223,731   | 100.19     | 16,630,959,244 |              |              |
| 土地       | 388,347,655    | 2.12         | 0            | 100.00     | 388,347,655    |              |              |
| 建物       | 965,006,815    | 5.25         | △ 41,601,631 | 95.87      | 1,006,608,446  |              |              |
| 構築物      | 13,145,201,344 | 71.48        | 100,142,033  | 100.77     | 13,045,059,311 |              |              |
| 機械及び装置   | 2,034,661,212  | 11.06        | △ 35,358,562 | 98.29      | 2,070,019,774  |              |              |
| 車両運搬具    | 20,184,004     | 0.11         | 16,658,198   | 572.46     | 3,525,806      |              |              |
| 工具器具及び備品 | 11,186,596     | 0.06         | △ 1,235,138  | 90.06      | 12,421,734     |              |              |
| リース資産    | 2,062,707      | 0.01         | △ 1,629,608  | 55.86      | 3,692,315      |              |              |
| 建設仮勘定    | 96,532,642     | 0.52         | △ 4,751,561  | 95.31      | 101,284,203    |              |              |
| 無形固定資産   | 4,606,500      | 0.02         | △ 340,000    | 93.13      | 4,946,500      |              |              |
| 電話加入権    | 321,500        | 0.00         | 0            | 100.00     | 321,500        |              |              |
| 水利権      | 4,285,000      | 0.02         | △ 340,000    | 92.65      | 4,625,000      |              |              |
| 流動資産     | 1,722,358,212  | 9.37         | 32,037,435   | 101.90     | 1,690,320,777  |              |              |
| 現金預金     | 1,657,442,534  | 9.02         | 34,522,205   | 102.13     | 1,622,920,329  |              |              |
| 未収金      | 58,073,835     | 0.32         | △ 1,234,621  | 97.92      | 59,308,456     |              |              |
| 貸倒引当金    | △ 3,275,200    | △ 0.02       | 46,600       | 98.60      | △ 3,321,800    |              |              |
| 貯藏品      | 9,977,043      | 0.05         | △ 1,236,749  | 88.97      | 11,213,792     |              |              |
| 有価証券     | 140,000        | 0.00         | △ 60,000     | 70.00      | 200,000        |              |              |
| 資産合計     | 18,390,147,687 | 100.00       | 63,921,166   | 100.35     | 18,326,226,521 |              |              |

| 科 目         | 令和3年度           |         |               | 令和2年度  |                 |
|-------------|-----------------|---------|---------------|--------|-----------------|
|             | 金額              | 構成比     | 前年度差引額        | 前年度比   | 金額              |
| 負債          | 7,144,962,865   | 38.85   | △ 217,313,731 | 97.05  | 7,362,276,596   |
| 固定負債        | 4,431,970,766   | 24.10   | △ 43,224,213  | 99.03  | 4,475,194,979   |
| 企業債         | 4,341,105,164   | 23.61   | △ 43,224,213  | 99.01  | 4,384,329,377   |
| リース債務       | 0               | 0       | 0             | —      | 0               |
| 引当金         | 90,865,602      | 0.49    | 0             | 100.00 | 90,865,602      |
| 修繕引当金       | 90,865,602      | 0.49    | 0             | 100.00 | 90,865,602      |
| 流動負債        | 438,032,254     | 2.38    | △ 118,196,145 | 78.75  | 556,228,399     |
| 企業債         | 294,224,212     | 1.60    | 11,133,316    | 103.93 | 283,090,896     |
| リース債務       | 0               | 0       | △ 1,717,864   | 皆減     | 1,717,864       |
| 未払金         | 126,417,191     | 0.69    | △ 118,048,299 | 51.71  | 244,465,490     |
| 引当金         | 15,022,529      | 0.08    | △ 2,386,942   | 86.29  | 17,409,471      |
| 修繕引当金       | 0               | 0       | 0             | —      | 0               |
| 賞与引当金       | 15,022,529      | 0.08    | △ 2,386,942   | 86.29  | 17,409,471      |
| その他流動負債     | 2,368,322       | 0.01    | △ 7,176,356   | 24.81  | 9,544,678       |
| 預り金         | 1,968,322       | 0.01    | △ 7,156,356   | 21.57  | 9,124,678       |
| 預り有価証券      | 140,000         | 0.00    | △ 60,000      | 70.00  | 200,000         |
| 預り担保金       | 260,000         | 0.00    | 40,000        | 118.18 | 220,000         |
| 繰延収益        | 2,274,959,845   | 12.37   | △ 55,893,373  | 97.60  | 2,330,853,218   |
| 長期前受金       | 4,676,398,279   | 25.43   | 59,334,440    | 101.29 | 4,617,063,839   |
| 長期前受金収益化累計額 | △ 2,401,438,434 | △ 13.06 | △ 115,227,813 | 105.04 | △ 2,286,210,621 |

負債の部

| 科 目         | 令和3年度          |        |               | 方      |                |
|-------------|----------------|--------|---------------|--------|----------------|
|             | 金額             | 構成比    | 前年度差引額        | 前年度比   | 令和2年度金額        |
| 資本          | 11,245,184,822 | 61.15  | 281,234,897   | 102.57 | 10,963,949,925 |
| 資本金         | 10,234,743,008 | 55.65  | 279,725,000   | 102.81 | 9,955,018,008  |
| 自己資本金       | 10,234,743,008 | 55.65  | 279,725,000   | 102.81 | 9,955,018,008  |
| 剰余金         | 1,010,441,814  | 5.50   | 1,509,897     | 100.15 | 1,008,931,917  |
| 資本剰余金       | 44,848,868     | 0.25   | 0             | 100.00 | 44,848,868     |
| 国庫補助金       | 2,986,425      | 0.02   | 0             | 100.00 | 2,986,425      |
| 県補助金        | 15,626         | 0.00   | 0             | 100.00 | 15,626         |
| 受贈財産評価額     | 41,755,000     | 0.23   | 0             | 100.00 | 41,755,000     |
| 工事負担金       | 91,817         | 0.00   | 0             | 100.00 | 91,817         |
| 利益剰余金       | 965,592,946    | 5.25   | 1,509,897     | 100.16 | 964,083,049    |
| 減債積立金       | 316,966,049    | 1.72   | △ 102,079,043 | 75.64  | 419,045,092    |
| 利益積立金       | 61,000,000     | 0.33   | 0             | 100.00 | 61,000,000     |
| 建設改良積立金     | 23,302,000     | 0.13   | 0             | 100.00 | 23,302,000     |
| 当年度未処分利益剰余金 | 564,324,897    | 3.07   | 103,588,940   | 122.48 | 460,735,957    |
| 負債・資本合計     | 18,390,147,687 | 100.00 | 63,921,166    | 100.35 | 18,326,226,521 |



# 簡 易 水 道 事 業 会 計



## 1 事業の概況

当年度末における簡易水道事業の給水件数は2,995件であり、給水人口は3,860人で前年度末に比べ155人の減となっている。

なお、当年度における総有収水量は513,590<sup>3</sup>mであり、有収率は82.4%で前年度に比べ1.4ポイント増となっている。

事業の概要は別表1（P.31）のとおりである。

## 2 予算の執行状況

### （1）収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額314,934,000円に対し、決算額322,661,668円で収入率102.5%となっており、予算額に比べ7,727,668円の増となっている。

収益的支出は、予算額301,057,000円に対し、決算額274,698,736円で執行率は91.2%となっており、予算額に比べ26,358,264円の不用額が生じている。

不用額の主なものは、営業費用17,668,515円である。

### 収益的収入及び支出

（単位：円、％）

| 区 分   | 予 算 額<br>(A) | 決 算 額<br>(B) | 翌年度<br>繰越額 | 予算額に比べ<br>決算額の増減<br>又は不用額 | 収入率<br>又は<br>執行率<br>(B)/(A) |
|-------|--------------|--------------|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 事業収益  | 314,934,000  | 322,661,668  | 0          | 7,727,668                 | 102.5                       |
| 営業収益  | 98,387,000   | 105,732,140  | 0          | 7,345,140                 | 107.5                       |
| 営業外収益 | 216,547,000  | 216,929,528  | 0          | 382,528                   | 100.2                       |
| 特別利益  | 0            | 0            | 0          | 0                         | 0                           |
| 事業費用  | 301,057,000  | 274,698,736  | 0          | 26,358,264                | 91.2                        |
| 営業費用  | 281,174,000  | 263,505,485  | 0          | 17,668,515                | 93.7                        |
| 営業外費用 | 18,683,000   | 11,143,221   | 0          | 7,539,779                 | 59.6                        |
| 特別損失  | 200,000      | 50,030       | 0          | 149,970                   | 25.0                        |
| 予備費   | 1,000,000    | 0            | 0          | 1,000,000                 | 0                           |



(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額208,027,000円に対し、決算額204,098,000円で収入率98.1%となっており、予算額に比べ3,929,000円の減となっている。

資本的支出は、予算額279,774,000円に対し、決算額274,359,948円で執行率は98.1%となっている。なお、地方公営企業法第26条の規定による繰越額1,210,000円を翌年度へ繰り越している。

また、予算額に比べ4,204,052円の不用額が生じているが、この主なものは、建設改良費の4,203,837円である。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額70,261,948円は、過年度損益勘定留保資金12,152,829円、当年度分損益勘定留保資金49,639,730円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,469,389円で補填している。

資本的収入及び支出

(単位：円、%)

| 区 分    | 予 算 額<br>(A) | 決 算 額<br>(B) | 翌年度<br>繰越額 | 予算額に比べ<br>決算額の増減<br>又は不用額 | 収入率<br>又は<br>執行率<br>(B)/(A) |
|--------|--------------|--------------|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 資本的収入  | 208,027,000  | 204,098,000  | 0          | △ 3,929,000               | 98.1                        |
| 企業債    | 67,300,000   | 64,300,000   | 0          | △ 3,000,000               | 95.5                        |
| 出資金    | 26,438,000   | 26,438,000   | 0          | 0                         | 100.0                       |
| 負担金    | 19,428,000   | 19,240,000   | 0          | △ 188,000                 | 99.0                        |
| 国庫補助金  | 49,261,000   | 49,261,000   | 0          | 0                         | 100.0                       |
| 県支出金   | 45,600,000   | 44,859,000   | 0          | △ 741,000                 | 98.4                        |
| 資本的支出  | 279,774,000  | 274,359,948  | 1,210,000  | 4,204,052                 | 98.1                        |
| 建設改良費  | 212,068,000  | 206,654,163  | 1,210,000  | 4,203,837                 | 97.4                        |
| 企業債償還金 | 67,706,000   | 67,705,785   | 0          | 215                       | 100.0                       |

### 3 経営成績

経営成績は別表2 損益計算書 (P. 32) のとおりである。

当年度の経営成績は、営業収益96,176,555円、営業費用257,094,057円で差引160,917,502円の営業損失が生じ、一般会計補助金・長期前受金戻入等の営業外収益213,121,650円、支払利息等の営業外費用12,807,532円を加減し39,396,616円の経常利益が生じている。

これに特別損失50,030円を計上し、当年度純利益は39,346,586円となっている。

#### 経 営 成 績

(単位：円)

| 年度 | 収 益         | 収益のうち<br>一般会計補助金 | 特別利益 | 費 用         | 特別損失   | 当年度純利益     |
|----|-------------|------------------|------|-------------|--------|------------|
| 3  | 309,298,205 | 110,977,000      | 0    | 269,901,589 | 50,030 | 39,346,586 |

#### (1) 収益性 (カネ)

経営資本営業利益率は、経営活動のための投下資本がどれだけの利益を上げたかを示すもので、この数値が高いほど収益性が良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると1.16ポイント下回っている。

経営資本回転率は、経営資本に対する営業収益の割合であり、経営資本の何倍の営業収益があったかを示すもので、この数値が高いほど経営資本の収益性が高いとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると0.01ポイント下回っている。

営業収益営業利益率は、営業収益に対する営業利益の割合であり、この比率が高いほど効率の良い営業がなされているとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると56.36ポイント下回っている。

| 項 目          | 算 式  | 令和3年度    | 令和2年度    | 全国<br>(令和2年度) |
|--------------|--|----------|----------|---------------|
| 経営資本営業利益率(%) | $\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ | △ 5.25   | △ 6.02   | △ 4.09        |
| 経営資本回転率(回)   | $\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$            | 0.03     | 0.03     | 0.04          |
| 営業収益営業利益率(%) | $\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$ | △ 167.31 | △ 208.96 | △ 110.95      |

・供給単価と給水原価

有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価は186円05銭、給水原価は377円95銭であり、供給単価と給水原価の差額は△191円90銭となっている。

| 区 分   | 供 給 単 価 | 給 水 原 価 | 供 給 単 価 と<br>給水原価の差額 |
|-------|---------|---------|----------------------|
| 令和3年度 | 186円05銭 | 377円95銭 | △191円90銭             |
| 令和2年度 | 164円55銭 | 393円83銭 | △229円28銭             |

(2) 施設の利用状況 (モノ)

施設利用率は、一日平均配水量を一日配水能力で除した割合のことで、施設が  
いかに効率よく稼働しているかを見るもので、数値が高いほど良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると27.31ポイント上回っている。

負荷率は、一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合のことで、数値が高  
いほど良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると5.16ポイント上回っている。

最大稼働率は、一日配水能力に対する一日最大配水量の割合のことで、数値が  
高いほど施設の効率性は高いとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると29.77ポイント上回っており、施設の  
効率性が高いといえる。

| 項 目       | 算 式  | 令和3年度 | 令和2年度 | 全国<br>(令和2年度) |
|-----------|--|-------|-------|---------------|
| 施設利用率 (%) | $\frac{\text{平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$  | 77.86 | 79.46 | 50.55         |
| 負 荷 率 (%) | $\frac{\text{平均配水量}}{\text{最大配水量}} \times 100$ | 80.06 | 82.75 | 74.90         |
| 最大稼働率 (%) | $\frac{\text{最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$  | 97.26 | 96.03 | 67.49         |

### (3) 人件費と労働生産性（ヒト）

総費用269,951,619円のうち人件費38,861,528円の占める割合は14.4%となっている。

また、給水収益95,555,855円に対する割合は40.7%となっている。

人件費のうち職員給与費について分析すると次表のようになる。

| 項目                                | 算式  | 令和3年度   | 令和2年度   | 全国<br>(令和2年度) |
|-----------------------------------|---|---------|---------|---------------|
| 職員一人当たり<br>有収水量 (m <sup>3</sup> ) | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 128,398 | 128,695 | 186,207       |
| 職員一人当たり<br>営業収益(千円)               | $\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$    | 24,044  | 21,298  | 31,408        |
| 職員一人当たり<br>給水人口 (人)               | $\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$  | 965     | 1,004   | 1,518         |

### (4) 支払利息

支払利息は11,142,780円であり、総費用269,951,619円に占める割合は4.1%となっている。

◆ 簡易水道事業経営戦略に基づき、事業の効率化や経費節減に取り組まれない。

## 4 財政状態

財政状態は別表3 貸借対照表 (P. 33~35) のとおりである。

### (1) 資産

資産総額は3,070,181,856円であり、そのうち有形固定資産が2,874,205,116円で、主なものは構築物2,561,473,501円である。

流動資産は195,976,740円で、主なものは現金預金112,373,984円及び未収金79,077,095円である。

### (2) 負債

負債総額は2,329,531,734円であり、主なものは固定負債・流動負債の企業債769,568,606円及び流動負債の未払金68,779,435円である。

### (3) 資本

資本総額は740,650,122円であり、そのうち資本金が662,341,210円、剰余金が78,308,912円である。

簡易水道事業の財政状態の良否を示す財務比率は、次のとおりである。

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、事業年度内に現金化できる流動資産と支払わなければならない流動負債とを比べ、企業の支払能力をみるもので、比率が大きいほど返済能力があり、経営上200%以上が望ましいとされている。

自己資本構成比率は、総資本の中に占める自己資本の割合であり、大きいほど経営の安定性があるとされている。

固定資産対長期資本比率は、固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以下であることが望ましいとされている。

| 項目                     | 算式   | 令和3年度  | 令和2年度  | 全国<br>(令和2年度) |
|------------------------|--|--------|--------|---------------|
| 流動比率(%)                | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$   | 138.11 | 102.25 | 186.73        |
| 自己資本構成比率<br>(%)        | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$     | 72.60  | 71.79  | 56.77         |
| 固定資産対<br>長期資本比率<br>(%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 98.15  | 99.89  | 96.19         |

### (4) 未収金

当年度末における未収金は79,277,095円で、前年度より48,813,660円増加しており、未収金の主なものは、国県補助金72,909,000円、消費税還付金3,756,777円及び水道料金2,566,018円である。

このうち未収水道料金の過去3年間の推移は次表のとおりとなっており、前年度と比べ当年度分については270,200円(26.25%)増加し、過年度分についても9,218円(0.73%)増加している。

収入率については、当年度分で0.13ポイントの減、過年度分で3.40ポイントの増となっている。

なお、令和4年5月末で当年度末未収金のうち73,289,010円が収入済であり、国県補助金については、全額収入済である。

## 未収水道料金の推移

(単位：円、%)

| 年度 | 区分  | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額  | 未収金額      | 収入率   | 前年度比  |
|----|-----|-------------|-------------|--------|-----------|-------|-------|
| 3  | 当年度 | 104,954,290 | 103,654,700 | 0      | 1,299,590 | 98.76 | △0.13 |
|    | 過年度 | 2,286,600   | 1,020,172   | 0      | 1,266,428 | 44.62 | 3.40  |
|    | 計   | 107,240,890 | 104,674,872 | 0      | 2,566,018 | 97.61 | 0.10  |
| 2  | 当年度 | 92,790,030  | 91,760,640  | 0      | 1,029,390 | 98.89 | 0.23  |
|    | 過年度 | 2,278,260   | 939,060     | 81,990 | 1,257,210 | 41.22 | 17.31 |
|    | 計   | 95,068,290  | 92,699,700  | 81,990 | 2,286,600 | 97.51 | △0.35 |
| 元  | 当年度 | 105,248,730 | 103,833,490 | 0      | 1,415,240 | 98.66 | —     |
|    | 過年度 | 1,134,140   | 271,120     | 0      | 863,020   | 23.91 | —     |
|    | 計   | 106,382,870 | 104,104,610 | 0      | 2,278,260 | 97.86 | —     |

◆ 水道料金について、利用者負担の公平性のため、収入未済額の縮減に向け収納対策を講じられたい。

## (5) 貯蔵品

貯蔵品は従来から使用の状況により、その都度必要な材料、量水器等を購入しているが、当年度は前年度と比較すると40,585円の減少で4,520,661円となっている。

また、予算第11条のたな卸資産購入限度額3,284,000円に対して、執行済額は1,616,534円となっており、限度額以内の執行となっている。

なお、貯蔵品については、令和4年3月31日現在の貯蔵品実地たな卸に立ち会い台帳と照合したところ数量は一致しており、資材の保管状況も良好であった。

## (6) 企業債

企業債の前年度末残高772,974,391円に対し、当年度借入額64,300,000円、当年度償還額67,705,785円を加減したことにより、当年度末残高は769,568,606円となっている。

## む す び

簡易水道事業特別会計は、令和2年度から地方公営企業法が適用され、簡易水道事業として特別会計から地方公営企業会計に移行している。

当年度の経営成績は、営業収益 96,177 千円、営業費用 257,094 千円で差引 160,917 千円の営業損失が生じ、これに他会計補助金、長期前受金戻入、雑収益等の営業外収益から支払利息等の営業外費用を差し引いた営業外利益 200,314 千円を加え、経常利益は 39,397 千円となる。これから特別損失を減じ、当年度純利益は 39,347 千円である。

簡易水道事業において、収入面では、人口減少や少子高齢化が進み、給水人口の減少により営業収益は減収傾向になることが予想される一方、支出面では、安全で安心な水を供給することはもとより、施設の更新や自然災害対策への対応など多様化する利用者のニーズにも応えていかなければならないことから、限られた財源の中で、将来にわたりサービスの提供を安定的に継続できるよう、これまで以上にコストの縮減を意識し、計画的かつ効率的な事業運営に取り組んでいただきたい。

なお、簡易水道事業の経営効率の指標となる有収率は 82.4%であり、前年度と比べ 1.4 ポイント増加している。有収率の向上は資源の有効活用と安定給水に直結するものであることから、漏水調査及び計画的な配水管等の施設整備による漏水対策の推進を図り、今後も有収率の向上に努めていただきたい。

また、水道料金の未収金については、利用者負担の公平性の確保や経営の健全化の観点からも、新たな未収の発生防止と未収金の早期回収に努めていただきたい。

最後に、簡易水道事業は市民の日常生活に不可欠なライフラインの一つとして重要な役割を担うものであることから、引き続き安全・安心で良質な水の安定供給に取り組まれるとともに、一般会計からの財政支援を受け当年度純利益を確保している状況から、引き続き更新費用や維持管理費用の節減を図っていただきたい。また、令和4年7月に策定された「薩摩川内市簡易水道事業経営戦略」に基づき、計画的かつ合理的な事業経営を行うことにより、財務、施設、人材等の経営基盤の強化と持続可能で健全な経営の確立に努めていただきたい。

簡易水道事業資料

別表 1

事業の概要

| 区 分                        | 令和3年度   | 令和2年度   | 前年度比    | 前年度差引額   |
|----------------------------|---------|---------|---------|----------|
| 年度末給水人口 (人)                | 3,860   | 4,015   | 96.14%  | △ 155    |
| 年度末給水件数 (件)                | 2,995   | 3,053   | 98.10%  | △ 58     |
| 総配水量 (m <sup>3</sup> )     | 622,756 | 635,400 | 98.01%  | △ 12,644 |
| 一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )  | 1,706   | 1,741   | 97.99%  | △ 35     |
| 一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )  | 2,131   | 2,104   | 101.28% | 27       |
| 総有収水量 (m <sup>3</sup> )    | 513,590 | 514,780 | 99.77%  | △ 1,190  |
| 一日平均有収水量 (m <sup>3</sup> ) | 1,407   | 1,407   | 100.00% | 0        |
| 営業収益 (千円)                  | 96,177  | 85,192  | 112.89% | 10,985   |
| 給水収益 (千円)                  | 95,556  | 84,707  | 112.81% | 10,849   |
| 営業損失 (千円)                  | 160,917 | 178,016 | 90.39%  | △ 17,099 |
| 当年度純利益 (千円)                | 39,347  | 36,002  | 109.29% | 3,345    |
| 有収率 (%)                    | 82.4    | 81.0    | 101.73% | 1.4      |

※ 金額については、税抜きである。



別表2

## 損益計算書

(単位：円、%)

| 科 目           | 令和3年度       |        |              | 前年度比   | 令和2年度<br>金額 |
|---------------|-------------|--------|--------------|--------|-------------|
|               | 金額          | 構成比    | 前年度差引額       |        |             |
| 営業収益          | 96,176,555  | 100.00 | 10,984,782   | 112.89 | 85,191,773  |
| 給水収益          | 95,555,855  | 99.35  | 10,848,882   | 112.81 | 84,706,973  |
| その他の営業収益      | 620,700     | 0.65   | 135,900      | 128.03 | 484,800     |
| 営業費用          | 257,094,057 | 100.00 | △ 6,113,807  | 97.68  | 263,207,864 |
| 原水及び浄水費       | 48,732,772  | 18.95  | △ 8,721,920  | 84.82  | 57,454,692  |
| 配水及び給水費       | 50,095,485  | 19.49  | 1,466,066    | 103.01 | 48,629,419  |
| 総係費           | 6,964,052   | 2.71   | 1,894,550    | 137.37 | 5,069,502   |
| 減価償却費         | 150,696,012 | 58.61  | 2,147,720    | 101.45 | 148,548,292 |
| 資産減耗費         | 605,736     | 0.24   | △ 2,900,223  | 17.28  | 3,505,959   |
| 営業損失          | 160,917,502 | —      | 17,098,589   | 90.39  | 178,016,091 |
| 営業外収益         | 213,121,650 | 100.00 | △ 18,528,782 | 92.00  | 231,650,432 |
| 受取利息及び配当金     | 588         | 0.00   | 325          | 223.57 | 263         |
| 他会計負担金        | 0           | 0      | 0            | —      | 0           |
| 他会計補助金        | 110,977,000 | 52.07  | △ 19,504,820 | 85.05  | 130,481,820 |
| 長期前受金戻入       | 75,790,394  | 35.56  | △ 163,604    | 99.78  | 75,953,998  |
| 雑収益           | 1,703,739   | 0.80   | 145,388      | 109.33 | 1,558,351   |
| 資本費繰入収益       | 24,649,929  | 11.57  | 993,929      | 104.20 | 23,656,000  |
| 営業外費用         | 12,807,532  | 100.00 | △ 2,672,972  | 82.73  | 15,480,504  |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 11,142,780  | 87.00  | △ 1,219,537  | 90.14  | 12,362,317  |
| 雑支出           | 1,664,752   | 13.00  | △ 1,453,435  | 53.39  | 3,118,187   |
| 経常利益          | 39,396,616  | —      | 1,242,779    | 103.26 | 38,153,837  |
| 特別利益          | 0           | —      | △ 919,400    | 皆減     | 919,400     |
| 特別損失          | 50,030      | 100.00 | △ 3,020,720  | 1.63   | 3,070,750   |
| 過年度損益修正損      | 50,030      | 100.00 | △ 2,030      | 96.10  | 52,060      |
| その他特別損失       | 0           | 0      | △ 3,018,690  | 皆減     | 3,018,690   |
| 当年度純利益        | 39,346,586  | —      | 3,344,099    | 109.29 | 36,002,487  |

別表3

## 貸借対照表

(単位：円、%)

| 科 目      | 借             |        |              | 貸      |               |  | 令和2年度<br>金 額 |
|----------|---------------|--------|--------------|--------|---------------|--|--------------|
|          | 金 額           | 構成比    | 前年度差引額       | 前年度比   | 前年度比          |  |              |
| 資産       | 3,070,181,856 | 100.00 | 95,106,737   | 103.20 | 2,975,075,119 |  |              |
| 固定資産     | 2,874,205,116 | 93.62  | 36,047,310   | 101.27 | 2,838,157,806 |  |              |
| 有形固定資産   | 2,874,205,116 | 93.62  | 36,047,310   | 101.27 | 2,838,157,806 |  |              |
| 土地       | 28,963,520    | 0.94   | 0            | 100.00 | 28,963,520    |  |              |
| 建物       | 48,213,715    | 1.57   | △ 2,866,967  | 94.39  | 51,080,682    |  |              |
| 構築物      | 2,561,473,501 | 83.43  | 56,051,581   | 102.24 | 2,505,421,920 |  |              |
| 機械及び装置   | 226,611,524   | 7.38   | △ 4,061,005  | 98.24  | 230,672,529   |  |              |
| 車両運搬具    | 550,726       | 0.02   | △ 162,260    | 77.24  | 712,986       |  |              |
| 工具器具及び備品 | 2,069,840     | 0.07   | 456,720      | 128.31 | 1,613,120     |  |              |
| リース資産    | 132,290       | 0.01   | △ 595,303    | 18.18  | 727,593       |  |              |
| 建設仮勘定    | 6,190,000     | 0.20   | △ 12,775,456 | 32.64  | 18,965,456    |  |              |
| 無形固定資産   | 0             | 0      | 0            | —      | 0             |  |              |
| 流動資産     | 195,976,740   | 6.38   | 59,059,427   | 143.14 | 136,917,313   |  |              |
| 現金預金     | 112,373,984   | 3.66   | 10,386,352   | 110.18 | 101,987,632   |  |              |
| 未収金      | 79,277,095    | 2.58   | 48,813,660   | 260.24 | 30,463,435    |  |              |
| 貸倒引当金    | △ 200,000     | △ 0.01 | △ 100,000    | 200.00 | △ 100,000     |  |              |
| 貯蔵品      | 4,520,661     | 0.15   | △ 40,585     | 99.11  | 4,561,246     |  |              |
| 有価証券     | 5,000         | 0.00   | 0            | 100.00 | 5,000         |  |              |
| 資産合計     | 3,070,181,856 | 100.00 | 95,106,737   | 103.20 | 2,975,075,119 |  |              |

貸 方

| 科 目         | 令和3年度         |        |              | 前年度比   | 令和2年度<br>金額   |
|-------------|---------------|--------|--------------|--------|---------------|
|             | 金額            | 構成比    | 前年度差引額       |        |               |
| 負債          | 2,329,531,734 | 75.88  | 29,322,151   | 101.27 | 2,300,209,583 |
| 固定負債        | 699,231,597   | 22.78  | △ 6,037,009  | 99.14  | 705,268,606   |
| 企業債         | 699,231,597   | 22.78  | △ 6,037,009  | 99.14  | 705,268,606   |
| リース債務       | 0             | 0      | 0            | —      | 0             |
| 流動負債        | 141,895,576   | 4.62   | 7,989,389    | 105.97 | 133,906,187   |
| 企業債         | 70,337,009    | 2.29   | 2,631,224    | 103.89 | 67,705,785    |
| リース債務       | 0             | 0      | △ 638,066    | 皆減     | 638,066       |
| 未払金         | 68,779,435    | 2.24   | 6,103,322    | 109.74 | 62,676,113    |
| 引当金         | 2,685,801     | 0.09   | △ 100,957    | 96.38  | 2,786,758     |
| 賞与引当金       | 2,685,801     | 0.09   | △ 100,957    | 96.38  | 2,786,758     |
| その他流動負債     | 93,331        | 0.00   | △ 6,134      | 93.83  | 99,465        |
| 預り金         | 43,331        | 0.00   | △ 6,134      | 87.60  | 49,465        |
| 預り有価証券      | 5,000         | 0.00   | 0            | 100.00 | 5,000         |
| 預り担保金       | 45,000        | 0.00   | 0            | 100.00 | 45,000        |
| 繰延収益        | 1,488,404,561 | 48.48  | 27,369,771   | 101.87 | 1,461,034,790 |
| 長期前受金       | 1,640,148,953 | 53.42  | 103,160,165  | 106.71 | 1,536,988,788 |
| 長期前受金収益化累計額 | △ 151,744,392 | △ 4.94 | △ 75,790,394 | 199.78 | △ 75,953,998  |

負債の部

| 科 目 |             | 令和3年度         |        |            | 令和2年度  |               |
|-----|-------------|---------------|--------|------------|--------|---------------|
|     |             | 金額            | 構成比    | 前年度差引額     | 前年度比   | 金額            |
| 資本  | 資本金         | 740,650,122   | 24.12  | 65,784,586 | 109.75 | 674,865,536   |
|     | 自己資本金       | 662,341,210   | 21.57  | 26,438,000 | 104.16 | 635,903,210   |
|     | 剰余金         | 662,341,210   | 21.57  | 26,438,000 | 104.16 | 635,903,210   |
|     | 資本剰余金       | 78,308,912    | 2.55   | 39,346,586 | 200.99 | 38,962,326    |
|     | 国庫補助金       | 2,959,839     | 0.10   | 0          | 100.00 | 2,959,839     |
|     | 県補助金        | 2,663,777     | 0.09   | 0          | 100.00 | 2,663,777     |
|     | 利益剰余金       | 296,062       | 0.01   | 0          | 100.00 | 296,062       |
|     | 減債積立金       | 75,349,073    | 2.45   | 39,346,586 | 209.29 | 36,002,487    |
|     | 利益積立金       | 0             | 0      | 0          | —      | 0             |
|     | 建設改良積立金     | 0             | 0      | 0          | —      | 0             |
|     | 当年度未処分利益剰余金 | 36,002,487    | 1.17   | 36,002,487 | 皆増     | 0             |
|     | 負債・資本合計     | 39,346,586    | 1.28   | 3,344,099  | 109.29 | 36,002,487    |
|     | 負債・資本合計     | 3,070,181,856 | 100.00 | 95,106,737 | 103.20 | 2,975,075,119 |



# 下水道事業会計



## 1 事業の概況

当年度末における下水道事業の排水戸数は5,267戸であり、水洗化人口（接続人口）は8,910人で前年度末に比べ149人の増となっている。

なお、当年度における総有収水量は1,164,214m<sup>3</sup>であり、有収率は92.8%で前年度に比べ1.1ポイントの減となっている。

事業の概要は別表1（P.48）のとおりである。

## 2 予算の執行状況

### （1）収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額920,221,000円に対し、決算額912,486,702円で収入率99.2%となっており、予算額に比べ7,734,298円の減となっている。

収益的支出は、予算額895,391,000円に対し、決算額845,434,538円で執行率は94.4%となっており、予算額に比べ49,956,462円の不用額が生じている。

不用額の主なものは、営業費用45,020,134円である。

### 収益的収入及び支出

（単位：円、％）

| 区 分   | 予 算 額<br>(A) | 決 算 額<br>(B) | 翌年度<br>繰越額 | 予算額に比べ<br>決算額の増減<br>又は不用額 | 収入率<br>又は<br>執行率<br>(B)/(A) |
|-------|--------------|--------------|------------|---------------------------|-----------------------------|
| 事業収益  | 920,221,000  | 912,486,702  | 0          | △7,734,298                | 99.2                        |
| 営業収益  | 202,076,000  | 205,230,760  | 0          | 3,154,760                 | 101.6                       |
| 営業外収益 | 718,145,000  | 707,255,942  | 0          | △10,889,058               | 98.5                        |
| 特別利益  | 0            | 0            | 0          | 0                         | 0                           |
| 事業費用  | 895,391,000  | 845,434,538  | 0          | 49,956,462                | 94.4                        |
| 営業費用  | 801,932,000  | 756,911,866  | 0          | 45,020,134                | 94.4                        |
| 営業外費用 | 91,339,000   | 88,522,672   | 0          | 2,816,328                 | 96.9                        |
| 特別損失  | 120,000      | 0            | 0          | 120,000                   | 0                           |
| 予備費   | 2,000,000    | 0            | 0          | 2,000,000                 | 0                           |



(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額1,686,285,000円に対し、決算額1,142,822,000円で収入率67.8%となっており、予算額に比べ543,463,000円の減となっている。

資本的支出は、予算額1,955,512,000円に対し、決算額1,377,466,848円で執行率は70.4%となっている。なお、地方公営企業法第26条の規定による繰越額341,487,000円、継続費通次繰越額226,520,000円の合計額568,007,000円を翌年度へ繰り越している。

また、予算額に比べ10,038,152円の不用額が生じているが、この主なものは、建設改良費の10,037,020円である。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額234,644,848円は、過年度損益勘定留保資金28,570,463円、当年度分損益勘定留保資金166,315,313円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額39,759,072円で補填している。

資本的収入及び支出

(単位：円、%)

| 区 分    | 予 算 額<br>(A)  | 決 算 額<br>(B)  | 翌年度<br>繰越額  | 予算額に比べ<br>決算額の増減<br>又は不用額 | 収入率<br>又は<br>執行率<br>(B)/(A) |
|--------|---------------|---------------|-------------|---------------------------|-----------------------------|
| 資本的収入  | 1,686,285,000 | 1,142,822,000 | 0           | △ 543,463,000             | 67.8                        |
| 企業債    | 704,900,000   | 434,700,000   | 0           | △ 270,200,000             | 61.7                        |
| 出資金    | 182,101,000   | 182,101,000   | 0           | 0                         | 100.0                       |
| 負担金    | 38,761,000    | 41,171,000    | 0           | 2,410,000                 | 106.2                       |
| 国庫補助金  | 745,096,000   | 476,264,000   | 0           | △ 268,832,000             | 63.9                        |
| 県支出金   | 15,427,000    | 8,586,000     | 0           | △ 6,841,000               | 55.7                        |
| 資本的支出  | 1,955,512,000 | 1,377,466,848 | 568,007,000 | 10,038,152                | 70.4                        |
| 建設改良費  | 1,551,693,000 | 973,648,980   | 568,007,000 | 10,037,020                | 62.7                        |
| 企業債償還金 | 403,819,000   | 403,817,868   | 0           | 1,132                     | 100.0                       |

### 3 経営成績

経営成績は別表2 損益計算書 (P. 49) のとおりである。

当年度の経営成績は、営業収益186,648,175円、営業費用735,282,528円で差引548,634,353円の営業損失が生じ、一般会計補助金・長期前受金戻入等の営業外収益670,082,107円、支払利息等の営業外費用94,154,662円を加減し27,293,092円の経常利益が生じおり、当年度純利益も同額の27,293,092円となっている。

#### 経営成績

(単位：円)

| 年度 | 収 益         | 収益のうち<br>一般会計補助金 | 特別利益 | 費 用         | 特別損失 | 当年度純利益     |
|----|-------------|------------------|------|-------------|------|------------|
| 3  | 856,730,282 | 421,962,000      | 0    | 829,437,190 | 0    | 27,293,092 |

#### (1) 収益性 (カネ)

経営資本営業利益率は、経営活動のための投下資本がどれだけの利益を上げたかを示すもので、この数値が高いほど収益性が良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると2.28ポイント下回っている。

経営資本回転率は、経営資本に対する営業収益の割合であり、経営資本の何倍の営業収益があったかを示すもので、この数値が高いほど経営資本の収益性が高いとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると0.03ポイント下回っている。

営業収益営業利益率は、営業収益に対する営業利益の割合であり、この比率が高いほど効率の良い営業がなされているとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると250.84ポイント下回っている。

| 項 目          | 算 式  | 令和3年度    | 令和2年度    | 全国<br>(令和2年度) |
|--------------|--|----------|----------|---------------|
| 経営資本営業利益率(%) | $\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$ | △ 3.97   | △ 3.85   | △ 1.69        |
| 経営資本回転率(回)   | $\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$            | 0.01     | 0.01     | 0.04          |
| 営業収益営業利益率(%) | $\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$ | △ 293.94 | △ 273.55 | △ 43.10       |

・ 使用料単価と汚水処理原価

有収水量 1 m<sup>3</sup> 当たりの使用料単価は159円61銭、汚水処理原価は206円97銭であり、使用料単価と汚水処理原価の差額は△47円36銭となっている。

| 区 分   | 使用料単価   | 汚水処理原価  | 使用料単価と<br>汚水処理原価の差額 |
|-------|---------|---------|---------------------|
| 令和3年度 | 159円61銭 | 206円97銭 | △ 47円36銭            |
| 令和2年度 | 158円46銭 | 179円11銭 | △ 20円65銭            |

(2) 施設の利用状況 (モノ)

施設利用率は、一日平均汚水処理量を一日汚水処理能力で除した割合のことで、施設がいかに効率よく稼働しているかを見るもので、数値が高いほど良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると18.60ポイント下回っている。

負荷率は、一日最大汚水処理量に対する一日平均汚水処理量の割合のことで、数値が高いほど良好とされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると12.88ポイント下回っている。

最大稼働率は、一日汚水処理能力に対する一日最大汚水処理量の割合のことで、数値が高いほど施設の効率性は高いとされている。

当年度は、前年度全国平均と比較すると12.85ポイント下回っている。

| 項 目       | 算 式  | 令和3年度 | 令和2年度 | 全国<br>(令和2年度) |
|-----------|--|-------|-------|---------------|
| 施設利用率 (%) | $\frac{\text{平均汚水処理量}}{\text{汚水処理能力}} \times 100$  | 42.83 | 53.51 | 61.43         |
| 負 荷 率 (%) | $\frac{\text{平均汚水処理量}}{\text{最大汚水処理量}} \times 100$ | 58.90 | 62.20 | 71.78         |
| 最大稼働率 (%) | $\frac{\text{最大汚水処理量}}{\text{汚水処理能力}} \times 100$  | 72.72 | 86.04 | 85.57         |

(3) 人件費と労働生産性（ヒト）

総費用829,437,190円のうち人件費22,782,542円の占める割合は2.7%となっている。

また、下水道使用料185,825,875円に対する割合は12.3%となっている。

人件費のうち職員給与費について分析すると次表のようになる。

| 項目                                | 算式  | 令和3年度   | 令和2年度   | 全国<br>(令和2年度) |
|-----------------------------------|---|---------|---------|---------------|
| 職員一人当たり<br>有収水量 (m <sup>3</sup> ) | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 388,071 | 391,306 | 605,952       |
| 職員一人当たり<br>営業収益(千円)               | $\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$    | 62,216  | 62,137  | 112,450       |
| 職員一人当たり<br>水洗化人口(人)               | $\frac{\text{現在水洗化人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 2,970   | 2,920   | 5,385         |

(4) 支払利息

支払利息は88,344,871円であり、総費用829,437,190円に占める割合は10.7%となっている。

(5) セグメント情報

セグメント情報の開示による公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業の経営成績の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円・税抜)

| 区分     | 公共下水道事業       | 特定環境保全<br>公共下水道事業 | 農業集落<br>排水事業  | 漁業集落<br>排水事業 | 合計            |
|--------|---------------|-------------------|---------------|--------------|---------------|
| 営業収益   | 116,280,928   | 11,902,028        | 43,129,219    | 15,336,000   | 186,648,175   |
| 営業費用   | 420,853,311   | 58,225,280        | 168,539,308   | 87,664,629   | 735,282,528   |
| 営業損益   | △ 304,572,383 | △ 46,323,252      | △ 125,410,089 | △ 72,328,629 | △ 548,634,353 |
| 経常損益   | 8,564,343     | 7,935,593         | 6,796,937     | 3,996,219    | 27,293,092    |
| その他の項目 |               |                   |               |              |               |
| 他会計補助金 | 261,623,000   | 41,673,000        | 75,490,000    | 43,176,000   | 421,962,000   |
| 減価償却費  | 271,635,797   | 32,594,879        | 124,654,200   | 66,254,648   | 495,139,524   |
| 特別利益   | 0             | 0                 | 0             | 0            | 0             |
| 特別損失   | 0             | 0                 | 0             | 0            | 0             |

◆ 事業の効率化や経費節減が図られるよう、経営戦略の改定に取り組まれない。

## 4 財政状態

財政状態は別表3 貸借対照表（P. 50～52）のとおりである。

### （1）資産

資産総額は14,656,084,863円であり、そのうち有形固定資産が14,136,780,898円で、主なものは構築物11,084,782,176円である。

流動資産は519,303,965円で、主なものは現金預金472,693,848円である。

### （2）負債

負債総額は12,388,741,435円であり、主なものは固定負債・流動負債の企業債5,848,672,121円及び流動負債の未払金255,859,497円である。

### （3）資本

資本総額は2,267,343,428円であり、そのうち資本金が1,568,108,056円、剰余金が699,235,372円である。

下水道事業の財政状態の良否を示す財務比率は、次のとおりである。

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、事業年度内に現金化できる流動資産と支払わなければならない流動負債とを比べ、企業の支払能力をみるもので、比率が大きいほど返済能力があり、経営上200%以上が望ましいとされている。

自己資本構成比率は、総資本の中に占める自己資本の割合であり、大きいほど経営の安定性があるとされている。

固定資産対長期資本比率は、固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以下であることが望ましいとされている。

| 項目                     | 算式   | 令和3年度  | 令和2年度  | 全国<br>(令和2年度) |
|------------------------|--|--------|--------|---------------|
| 流動比率(%)                | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$   | 77.52  | 50.96  | 65.03         |
| 自己資本構成比率<br>(%)        | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$     | 58.32  | 57.91  | 61.77         |
| 固定資産対<br>長期資本比率<br>(%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 101.08 | 101.72 | 61.13         |

(4) 未収金

当年度末における未収金は47,188,057円で、昨年度より8,307,973円増加しており、未収金の主なものは、消費税還付金37,187,797円、下水道使用料6,274,260円及び県補助金3,350,000円である。

このうち未収下水道使用料の過去3年間の推移は次表のとおりとなっており、昨年度と比べ当年度分については152,770円(4.95%)増加し、過年度分については29,810円(0.99%)増加している。

収入率については、当年度分で0.07ポイントの減、過年度分で4.77ポイントの減となっている。

なお、令和4年5月末で当年度末未収金のうち5,057,470円が収入済である。

また、当年度の不納欠損額は、時効による下水道使用料125,240円(26件)及び督促手数料2,500円(25件)の合計127,740円(51件)となっている。

未収下水道使用料の推移

(単位：円、%)

| 年度 | 区分  | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額   | 未収金額      | 収入率   | 前年度比   |
|----|-----|-------------|-------------|---------|-----------|-------|--------|
| 3  | 当年度 | 204,408,460 | 201,169,510 | 0       | 3,238,950 | 98.42 | △ 0.07 |
|    | 過年度 | 6,091,680   | 2,931,130   | 125,240 | 3,035,310 | 48.12 | △ 4.77 |
|    | 計   | 210,500,140 | 204,100,640 | 125,240 | 6,274,260 | 96.96 | △ 0.15 |
| 2  | 当年度 | 204,616,270 | 201,530,090 | 0       | 3,086,180 | 98.49 | 0.27   |
|    | 過年度 | 6,380,120   | 3,374,620   | 0       | 3,005,500 | 52.89 | 11.08  |
|    | 計   | 210,996,390 | 204,904,710 | 0       | 6,091,680 | 97.11 | △ 0.20 |
| 元  | 当年度 | 201,388,970 | 197,807,700 | 0       | 3,581,270 | 98.22 | —      |
|    | 過年度 | 4,810,310   | 2,011,460   | 0       | 2,798,850 | 41.81 | —      |
|    | 計   | 206,199,280 | 199,819,160 | 0       | 6,380,120 | 96.91 | —      |

- ◆ 下水道使用料について、負担の公平性のためお客さまセンターと連携し、収入未済額の縮減に努められたい。

(5) 貯蔵品

貯蔵品は使用の状況により、必要な量水器を購入しているが、当年度の購入はなく、前年度と同額の17,060円となっており、予算第10条のたな卸資産購入限度額145,000円に対して、執行額はなかった。

なお、貯蔵品については、令和4年3月31日現在の貯蔵品実地たな卸に立ち会い台帳と照合したところ数量は一致しており、資材の保管状況も良好であった。

(6) 企業債

企業債の前年度末残高5,817,789,989円に対し、当年度借入額434,700,000円、当年度償還額403,817,868円を加減したことにより、当年度末残高は5,848,672,121円となっている。

(7) セグメント情報

財政状態に関するセグメント情報は、次表のとおりである。

(単位：円・税抜)

| 区 分                                  | 公共下水道事業       | 特定環境保全<br>公共下水道事業 | 農 業 集 落<br>排 水 事 業 | 漁 業 集 落<br>排 水 事 業 | 合 計            |
|--------------------------------------|---------------|-------------------|--------------------|--------------------|----------------|
| セグメント資産                              | 8,195,746,613 | 1,754,070,352     | 3,047,847,976      | 1,658,419,922      | 14,656,084,863 |
| セグメント負債                              | 7,128,232,957 | 1,568,805,043     | 2,369,614,479      | 1,322,088,956      | 12,388,741,435 |
| その他の項目<br>有形固定資産<br>及び無形固定<br>資産の増加額 | 162,624,859   | 360,290,052       | △68,114,224        | △63,877,375        | 390,923,312    |

## む す び

公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計及び漁業集落排水事業特別会計は、令和2年度から地方公営企業法が適用され、下水道事業として特別会計から地方公営企業会計に移行している。

下水道事業は、各区域で地域の特性に応じた下水道施設を整備し、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業の各事業を運営している。

当年度の事業全体の経営成績は、営業収益 186,648 千円、営業費用 735,282 千円で差引 548,634 千円の営業損失が生じ、これに一般会計補助金、長期前受金戻入、他会計負担金等の営業外収益から支払利息等の営業外費用を差し引いた営業外利益 575,927 千円を加え、経常利益は 27,293 千円となり、当年度純利益も同額の 27,293 千円である。

採算性を表す事業全体の有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの使用料単価は 159 円 61 銭、汚水処理原価は 206 円 97 銭で、差引 47 円 36 銭の差損が生じている。

地方公営企業会計の適用により、収益・費用などの経営成績や資産・負債の財政状態を的確に把握することが可能となることから、事業ごとに綿密な経営分析を行い、収支バランスを考慮しながら、運営方針等を決定し、投資更新計画と、それを実行するための財政計画からなる経営戦略の改定に取り組んでいただきたい。

使用料については、受益者負担の原則や公平性の確保の観点から、新たな未収の発生防止と未収金の早期回収により未収金の解消に努めていただきたい。また、下水道未接続世帯等へは生活排水処理の重要性について理解を求める啓発を促進し、収入の確保及び水洗化率（接続率）の向上に取り組んでいただきたい。

最後に、快適な生活環境の提供と公共用水域の水質改善のために、市民へ生活排水処理に関する意識啓発を図ること等により下水道の普及に努められ、また一般会計からの財政支援を受け当年度純利益を確保している状況からも、引き続き下水処理施設の効率的な維持管理や経費節減に努めていただきたい。

今後も地域の特性に対応した効率的かつ適正な生活排水処理の推進に取り組まれるとともに、独立採算制の原則による経営が求められることを踏まえ、将来にわたり安定的にサービスの提供を継続できるよう持続可能で健全な経営基盤の確立に努めていただきたい。



## 下水道事業資料

別表 1

### 事業の概要

| 区 分                           | 令和3年度     | 令和2年度     | 前年度比    | 前年度差引額   |
|-------------------------------|-----------|-----------|---------|----------|
| 供用開始区域面積<br>整備面積 (ha)         | 746.9     | 739.4     | 101.01% | 7.5      |
| 事業計画人口 (人)                    | 18,065    | 18,065    | 100.00% | 0        |
| 供用開始区域内人口<br>(整備人口) (人)       | 13,894    | 13,762    | 100.96% | 132      |
| 水洗化人口<br>(接続人口) (人)           | 8,910     | 8,761     | 101.70% | 149      |
| 水洗化率<br>(接続率) (%)             | 64.1      | 63.7      | 100.63% | 0.4      |
| 接続戸数 (戸)                      | 4,682     | 4,554     | 102.81% | 128      |
| 排水戸数 (戸)                      | 5,267     | 5,102     | 103.23% | 165      |
| 最大汚水処理能力 (m <sup>3</sup> /日)  | 8,027     | 6,402     | 125.38% | 1,625    |
| 年間処理水量 (m <sup>3</sup> )      | 1,254,935 | 1,250,462 | 100.36% | 4,473    |
| 1日平均汚水処理量 (m <sup>3</sup> /日) | 3,438     | 3,426     | 100.35% | 12       |
| 年間有収水量 (m <sup>3</sup> )      | 1,164,214 | 1,173,919 | 99.17%  | △ 9,705  |
| 営業収益 (千円)                     | 186,648   | 186,412   | 100.13% | 236      |
| 下水道使用料 (千円)                   | 185,826   | 186,015   | 99.90%  | △ 189    |
| 営業損失 (千円)                     | 548,634   | 509,934   | 107.59% | 38,700   |
| 当年度純利益 (千円)                   | 27,293    | 95,037    | 28.72%  | △ 67,744 |
| 有収率 (%)                       | 92.8      | 93.9      | 98.83%  | △ 1.1    |

※ 金額については、税抜きである。

別表2

## 損益計算書

(単位：円、%)

| 科 目           | 令 和 3 年 度   |        |              | 前年度比   | 令和2年度<br>金 額 |
|---------------|-------------|--------|--------------|--------|--------------|
|               | 金 額         | 構成比    | 前年度差引額       |        |              |
| 営業収益          | 186,648,175 | 100.00 | 235,908      | 100.13 | 186,412,267  |
| 下水道使用料        | 185,825,875 | 99.56  | △ 188,919    | 99.90  | 186,014,794  |
| その他の営業収益      | 822,300     | 0.44   | 424,827      | 206.88 | 397,473      |
| 営業費用          | 735,282,528 | 100.00 | 38,936,057   | 105.59 | 696,346,471  |
| 管渠費           | 9,537,225   | 1.30   | 2,093,756    | 128.13 | 7,443,469    |
| ポンプ場費         | 4,992,475   | 0.68   | 1,613,839    | 147.77 | 3,378,636    |
| 処理場費          | 179,049,649 | 24.35  | 23,664,957   | 115.23 | 155,384,692  |
| 総係費           | 46,563,655  | 6.33   | 6,090,456    | 115.05 | 40,473,199   |
| 減価償却費         | 495,139,524 | 67.34  | 7,074,662    | 101.45 | 488,064,862  |
| 資産減耗費         | 0           | 0      | △ 1,601,613  | 皆減     | 1,601,613    |
| 営業損失          | 548,634,353 | —      | △ 38,700,149 | 107.59 | 509,934,204  |
| 営業外収益         | 670,082,107 | 100.00 | △ 8,642,790  | 98.73  | 678,724,897  |
| 受取利息及び配当金     | 1,494       | 0.00   | 86           | 106.11 | 1,408        |
| 他会計負担金        | 6,097,000   | 0.91   | 420,000      | 107.40 | 5,677,000    |
| 他会計補助金        | 421,962,000 | 62.97  | △ 11,177,000 | 97.42  | 433,139,000  |
| 長期前受金戻入       | 240,663,380 | 35.92  | 1,941,971    | 100.81 | 238,721,409  |
| 雑収益           | 1,358,233   | 0.20   | 172,153      | 114.51 | 1,186,080    |
| 営業外費用         | 94,154,662  | 100.00 | △ 6,410,791  | 93.63  | 100,565,453  |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 88,344,871  | 93.83  | △ 5,767,073  | 93.87  | 94,111,944   |
| 雑支出           | 5,809,791   | 6.17   | △ 643,718    | 90.03  | 6,453,509    |
| 経常利益          | 27,293,092  | —      | △ 40,932,148 | 40.00  | 68,225,240   |
| 特別利益          | 0           | —      | △ 28,366,233 | 皆減     | 28,366,233   |
| 特別損失          | 0           | 0      | △ 1,554,500  | 皆減     | 1,554,500    |
| 過年度損益修正損      | 0           | 0      | △ 11,500     | 皆減     | 11,500       |
| その他特別損失       | 0           | 0      | △ 1,543,000  | 皆減     | 1,543,000    |
| 当年度純利益        | 27,293,092  | —      | △ 67,743,881 | 28.72  | 95,036,973   |

別表3

## 貸借対照表

(単位：円、%)

| 科 目      | 借              |        |              | 方      |                |  | 令和2年度<br>金 額 |
|----------|----------------|--------|--------------|--------|----------------|--|--------------|
|          | 金 額            | 構成比    | 前年度差引額       | 前年度    | 前年度比           |  |              |
| 資産       | 14,656,084,863 | 100.00 | 669,105,869  | 104.78 | 13,986,978,994 |  |              |
| 固定資産     | 14,136,780,898 | 96.46  | 390,923,312  | 102.84 | 13,745,857,586 |  |              |
| 有形固定資産   | 14,136,780,898 | 96.46  | 390,923,312  | 102.84 | 13,745,857,586 |  |              |
| 土地       | 646,856,803    | 4.41   | 0            | 100.00 | 646,856,803    |  |              |
| 建物       | 575,307,907    | 3.93   | △ 19,655,464 | 96.70  | 594,963,371    |  |              |
| 構築物      | 11,084,782,176 | 75.63  | 340,848,667  | 103.17 | 10,743,933,509 |  |              |
| 機械及び装置   | 986,564,098    | 6.73   | △ 23,634,238 | 97.66  | 1,010,198,336  |  |              |
| 車両運搬具    | 17,612         | 0.00   | 0            | 100.00 | 17,612         |  |              |
| 工具器具及び備品 | 775,126        | 0.01   | △ 1,667      | 99.79  | 776,793        |  |              |
| リース資産    | 0              | 0      | 0            | —      | 0              |  |              |
| 建設仮勘定    | 842,477,176    | 5.75   | 93,366,014   | 112.46 | 749,111,162    |  |              |
| 無形固定資産   | 0              | 0      | 0            | —      | 0              |  |              |
| 流動資産     | 519,303,965    | 3.54   | 278,182,557  | 215.37 | 241,121,408    |  |              |
| 現金預金     | 472,693,848    | 3.22   | 270,219,584  | 233.46 | 202,474,264    |  |              |
| 未収金      | 47,188,057     | 0.32   | 8,307,973    | 121.37 | 38,880,084     |  |              |
| 貸倒引当金    | △ 600,000      | △ 0.00 | △ 350,000    | 240.00 | △ 250,000      |  |              |
| 貯蔵品      | 17,060         | 0.00   | 0            | 100.00 | 17,060         |  |              |
| 有価証券     | 5,000          | 0.00   | 5,000        | 皆増     | 0              |  |              |
| 資産合計     | 14,656,084,863 | 100.00 | 669,105,869  | 104.78 | 13,986,978,994 |  |              |

| 科 目         | 令 和 3 年 度      |        |               | 前年度比    | 令和2年度<br>金 額   |
|-------------|----------------|--------|---------------|---------|----------------|
|             | 金 額            | 構成比    | 前年度差引額        |         |                |
| 負債          |                |        |               |         |                |
| 固定負債        | 12,388,741,435 | 84.53  | 459,711,777   | 103.85  | 11,929,029,658 |
| 企業債         | 5,439,432,883  | 37.11  | 25,460,761    | 100.47  | 5,413,972,122  |
| リース債務       | 0              | 0      | 0             | —       | 0              |
| 引当金         | 0              | 0      | 0             | —       | 0              |
| 修繕引当金       | 0              | 0      | 0             | —       | 0              |
| 流動負債        | 669,859,693    | 4.57   | 196,713,487   | 141.58  | 473,146,206    |
| 企業債         | 409,239,238    | 2.79   | 5,421,371     | 101.34  | 403,817,867    |
| リース債務       | 0              | 0      | 0             | —       | 0              |
| 未払金         | 255,859,497    | 1.75   | 188,206,417   | 378.19  | 67,653,080     |
| 引当金         | 1,456,168      | 0.01   | △ 136,891     | 91.41   | 1,593,059      |
| 修繕引当金       | 0              | 0      | 0             | —       | 0              |
| 賞与引当金       | 1,456,168      | 0.01   | △ 136,891     | 91.41   | 1,593,059      |
| その他流動負債     | 3,304,790      | 0.02   | 3,222,590     | 4020.43 | 82,200         |
| 預り金         | 3,254,790      | 0.02   | 3,217,590     | 8749.44 | 37,200         |
| 預り有価証券      | 5,000          | 0.00   | 5,000         | 皆増      | 0              |
| 預り担保金       | 45,000         | 0.00   | 0             | 100.00  | 45,000         |
| 繰延収益        | 6,279,448,859  | 42.85  | 237,537,529   | 103.93  | 6,041,911,330  |
| 長期前受金       | 6,758,833,648  | 46.12  | 478,200,909   | 107.61  | 6,280,632,739  |
| 長期前受金収益化累計額 | △ 479,384,789  | △ 3.27 | △ 240,663,380 | 200.81  | △ 238,721,409  |

負 債 の 部

| 科 目         | 令 和 3 年 度      |        |              | 前年度比   | 令和2年度<br>金 額   |
|-------------|----------------|--------|--------------|--------|----------------|
|             | 金 額            | 構 成 比  | 前年度差引額       |        |                |
| 資本          | 2,267,343,428  | 15.47  | 209,394,092  | 110.17 | 2,057,949,336  |
| 資本金         | 1,568,108,056  | 10.70  | 182,101,000  | 113.14 | 1,386,007,056  |
| 自己資本金       | 1,568,108,056  | 10.70  | 182,101,000  | 113.14 | 1,386,007,056  |
| 剰余金         | 699,235,372    | 4.77   | 27,293,092   | 104.06 | 671,942,280    |
| 資本剰余金       | 576,905,307    | 3.94   | 0            | 100.00 | 576,905,307    |
| 国庫補助金       | 576,903,827    | 3.94   | 0            | 100.00 | 576,903,827    |
| 県補助金        | 378            | 0.00   | 0            | 100.00 | 378            |
| 受贈財産評価額     | 0              | 0      | 0            | —      | 0              |
| 負担金         | 1,102          | 0.00   | 0            | 100.00 | 1,102          |
| 利益剰余金       | 122,330,065    | 0.83   | 27,293,092   | 128.72 | 95,036,973     |
| 減債積立金       | 0              | 0      | 0            | —      | 0              |
| 利益積立金       | 0              | 0      | 0            | —      | 0              |
| 建設改良積立金     | 95,036,973     | 0.65   | 95,036,973   | 皆増     | 0              |
| 当年度未処分利益剰余金 | 27,293,092     | 0.18   | △ 67,743,881 | 28.72  | 95,036,973     |
| 負債・資本合計     | 14,656,084,863 | 100.00 | 669,105,869  | 104.78 | 13,986,978,994 |